

交通量変化の分析に向けた基本的な考え方

1. 上野地区まちづくりにおける基盤整備の考え方・検討テーマ

(1) 第2回基盤整備部会 (H30.3.22)

- 「(仮称)アーバンステップ」と、その効果を提示。
 - ① 山とまちの動線を明快につなぐ歩行者ネットワーク
 - ② 国際都市の顔に相應しい「おもてなし」の空間の創出

(2) 第2回策定委員会 (H30.6.22)

- 基盤整備部会で今後検討するテーマを提示。
 - ① 上野公園・駅・まちを回遊するわかりやすい歩行者ネットワークと、高低差を解消しアクセス視認性の高い縦動線の整備
 - ② 日本と世界をつなぐ顔に相應しい歩行者広場空間と、わかりやすい交通結節点の創出

2. 上野地区まちづくりに伴う交通量変化の分析に向けた前提条件設定の考え方

(1) 基盤整備に伴う前提条件設定の考え方

- ① 歩行者ネットワークや歩行者広場空間の整備等
例) 昭和通り・中央通り・区道58号線・駅前広場・市街地等の歩行者空間充実 等
- ② ①の整備に伴う交通機能等の再編
例) 駐車場・荷捌き機能の再編、広域道路ネットワークの方向性 等

(2) 開発等に伴う前提条件設定の考え方

- ① 今後想定される開発による交通量
 - 上野駅周辺で誘導・想定される機能(商業・業務等)や規模による交通量を、大規模開発地区関連交通計画マニュアル(国土交通省)等により算定。
- ② 今後見込まれる来街者数
 - まちづくり部会で検討中の来街者数を参考に設定。